

# こども園関係者評価委員会 会議録

日 時 令和4年6月30日(木) 午後2時から

## ・園の取り組み状況 ※資料参照

## ・評価委員と園との意見交換

- ① 小学校との連携、接続について、小学校側が園に求めていることはありますか。

小学校とこども園との連携について、2つの側面があると考えています。

一つ目は小学校とこども園とのアセスメントが大事だと思っており、こども園での取り組みをしっかりと汲み取っていき、個人の連携を大切にしていきたいです。また、小学校とこども園がお互いの施設を行ききし、広い範囲(幼児期から小学校高学年まで)で個々の課題や子どもの連携を行っていき、学びをつなげていきたいと思っています。

二つ目は今年度、小学校の教育目標を新たに『自分で考えて行動する』に変更しました。子どもたちに教育目標を分かりやすく伝え、自分で考えて行動する力をつけていきます。(小学校側)

→『自分で考えて行動する』という教育目標は、5歳児でも理解できる言葉なので、保育教諭も子どもたちに伝えやすいです。保育教諭も就学前から同じ視点で声かけをしていくことで、小学校の接続につながっていけると思います。

- ② 保育教諭も保護者アンケートの命の扱いについての意見について。

→こども園では、子どもたちが生き物のお世話をしています。その中で、命について学びに取り入れています。大人との価値観の違いから命の扱いが粗末になっているという意見がありました。生き物の『死』から、何がいけなかったんだろうと議論されているということは良いことだと思う。保護者とも情報提供していくことで、価値観も変わってくると思います。

- ③ アンケートの回収率について、回収人数を記載しているが、回収率を比率として記載する方がわかりやすいのではないか。

→次回から回収率を記載します。

- ④ ソニー教育財団への取り組み（「科学する心」を育てる）はすばらしいと思うが、こうした取り組みや関係者評価委員会の開催などを行うにあたって、非常に丁寧に対応されているが、職員自身、オーバーワークになっていないか。制限できる仕事の洗い出しも必要ではないか。

→教育・保育の中で日々の記録は大事だと考えています。時間配分できる量で内容が重複しないように記録に残したり見直しを行い、計画に役立てています。

⑤ コロナ禍でのマスク着用について、どう感じていますか。

→職員がマスクを着用していることによって、職員の表情が子どもに伝わらなかったり、子どもの発語が遅くなっているなど影響が出始めていると感じています。職員の表情が分かるマウスシールドを使用した時期もありましたが、発症数が増加してきてからは、必ずマスク着用して保育する状況が続いています。食事と一緒に食べることができないので、食事面でも子どもへの影響は大きいと思います。

次回 令和5年 2月頃予定